

100109その他の映画・演劇業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	14 ～ 15	スノーボード大会の撮影をするため、スキーで撮影場所に向かった際、斜面が降雪により圧雪状態で、スピードが出たまま2回位バウンドし、右膝をひねって倒れ、右膝前十字靭帯断裂、内側靭帯断裂を負った。	37	2	719	30 ～ 49
2	2020	1	19 ～ 20	プロレスの試合中、レフェリーをしている際、選手の靴の踵分が直撃し、顔面挫傷および右涙小管破裂を負った。	52	6	911	1～ 9
3	2020	2	9 ～ 10	4tウィング式のパワーゲートトラックで、平台車の上に載っている30枚ほどのパネル(w900×h2100)を2人で降ろすとき、トラックの運転手がパワーゲートに載せ昇降の声掛けがあり、トラック後方を正面に見て左側で荷物を押さえていた。その際、バランスが崩れ、戻そうとしたが荷物がパワーゲートから落下して下敷きになり、右足関節脱臼骨折、骨盤骨折、右脛骨骨折、尿道損傷を負った。	62	4	221	1～ 9
4	2020	2	11 ～ 12	勤務先の工場で、木ベニアを縦切り用作業台でカットしているときに、回転している刃に接触し、左手中指に開放骨折および部分切断を負った。	35	8	131	30 ～ 49
5	2020	5	0 ～ 1	店内で遊技台を移動し、設置する際にドアオープンセンサーを取り外そうとしたが、固くて外れなかった。両手で上方向に力を入れたところ、左手甲を部品にぶつけ、裂傷を負った。	40	3	391	50 ～ 99

14	2020	12	17	大劇場内で、舞台備品を載せた高さ2.85mの移動用ワゴン（車輪付き、・被災発生時は固定・鉄枠）の上で作業中、床面に落下した	22	1	362	～	300
			18	際、頭部を強打し、急性硬膜下血腫を発症した。					499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。